

第0章の補遺4 述語の逆と裏

述語 A と述語 B とからできる述語 “ A ならば B ” に対して、

述語 “ B ならば A ” を逆といい、

述語 “ A でないならば、 B でない” を裏といいます。

述語 A と述語 B とからできる述語 “ A ならば B ” が真であっても、その逆の述語 “ B ならば A ” 及びその裏の述語 “ A でないならば、 B でない” は真であるとは限りません。

例 述語

“高専生であるならば中学校を卒業している”

は常に（誰であっても）本当です。しかし、その逆の述語

“中学校を卒業しているならば高専生である”

及びその裏の述語

“高専生でないならば中学校を卒業していない”

は常に（誰であっても）本当であるとは限りません。

終